

Town Topics
ま
ち
の
話
題

第 8 回 佐野市
消防操法大会



【ポンプ自動車の部】
優勝：第17分団第1班



【小型動力ポンプの部】
優勝：第20分団第2班

6月9日、田沼グリーンスポーツセンターで、第8回佐野市消防操法大会が行われました。

大会には、佐野・田沼・葛生の各支団予選を通過した代表11チームが出場し、ポンプ自動車の部、小型動力ポンプの部で、日ごろの訓練の成果を披露しました。

「自分のまちは、自分で守る」と、仕事のほかに、地域の消防活動に従事し、大変な訓練を重ねられている消防団員の皆さん、大変ありがとうございます。

なお、大会結果は、次のとおりです。

【ポンプ自動車の部】

優勝：第17分団第1班
準優勝：第21分団第1班

【小型動力ポンプの部】

優勝：第20分団第2班
準優勝：第21分団第2班



佐野ウォークラリー大会



6月2日、田沼小学校とその周辺を舞台に「佐野ウォークラリー大会」が、開催されました。

参加者は途中に設定されたいくつものチェックポイントで「松ぼっくり投げ」「輪投げ」などのゲームや、「観察ゾーン」からの問題などをクリアしながら、設定された時間を予測してコースを歩きました。

各組力と知恵を合わせて課題に取り組み、最後は全員で手をつないでゴール。友人や家族の絆を深めるとともに、佐野の新たな良さを再発見する一日になりました。



田中正造翁没後100年記念事業

今年、没後100年を迎える郷土の偉人・田中正造を再考する講座やイベントなどが随時開催されています。



田中正造に学ぶ講座

5月25日・6月1日には郷土博物館などで、「田中正造に学ぶ講座」が開催されたほか、6月6日には佐野中央ライオンズクラブの例会で「田中正造翁紙芝居」が上演されました。



田中正造翁紙芝居

今後たくさんの顕彰事業が行われます。詳しくは、田中正造翁没後百年顕彰事業のページ (<http://www.city.sano.lg.jp/shozo-ou/index.html>) をご覧ください。

小さな畑…「みかもファーム」



季節の野菜が育っています

みかもクリーンセンターの玄関横に、ネギやナスが植えられた小さな畑があるのをご存じですか？

「みかもファーム」と名付けられたこの畑は、リサイクルプラザを利用している「エコ・クッキング同好会」の皆さんが耕作しています。

エコ・クッキング同好会の高橋会長さんは「私たちはエコ料理を実践しながら、燃えるゴミの減量化などを学んでいます。料理講座で出た野菜くずをコンポートに入れて堆肥化し、畑の土に混ぜ入れます。そして収穫した野菜を料理講座で使っているのです」と話されていました。

資源が循環するような「循環型社会」への転換を進めることが必要とされている中、その大いなる意義をこの小さな畑から感じとることができました。

(市民記者

秋山久美子)



じゃがいもがたくさん取れました

エコがいっぱい・リメイクフェア2013

6月2日、みかもクリーンセンターで、リユース(再利用)とリメイク(再製作)をテーマとして開催されました。



そのままではゴミになってしまう牛乳パックや古着なども、ちょっとしたひと手間加えることで雑貨やおもちゃに変わります。会場ではリメイク品の展示や、実際に自分でリメイクに挑戦できるワークショップも行われました。



ほかにも毎回好評の再生品展示提供、フリーマーケット、環境にやさしい「エコ・クッキング」などが催され、多くの方がエコを学びながらイベントを楽しみました。

「もったいない」の心のもと、さまざまな「モノ」を繰り返し使い、ちょっとした工夫で再生し、ゴミを減らすことを心がけてみませんか。すぐに「ゴミ」とせず、リメイクとリユースを実践してみましょう。



いました。

最近、この方言はほとんど使われなくなりました。

(市民記者 森下喜一)

同じ行動をする親しい仲間を、古くは組(ぐみ)といい、その組(仲間)から抜けさせられることから「クミヌケ(組抜け)」という方言が生まれました。

「あの子はヘデモネー(つまらない)ことをいうもんだから、みんなからジユク(屁理屈)こねるンジャネーなんていわれて、とうとうクミヌケ(仲間外れ)ンナツチャタンだつてさ」

佐野 ばんてい

仲間に入れることと
仲間から外される意の方言